

高島町商工会

青年部部长 菅野尚宏氏
主 事 佐藤由康氏



10月15日に開催いたします高島ミュージックフェス&マルシェをご説明させていただきます。

この企画の目的は、新型コロナウイルス感染症の影響により、全国規模でイベントが中止や、規模の縮小を、余儀なくされました。徐々に回復の傾向にあるものの、未だに大きな傷跡を残しています。わたくしたち青年部活動においても、それは例外ではありませんでした。だからこそ、このタイミングで、我々が主体となって、高島町を盛り上げていかなければならないと考えました。

中小企業庁による、令和3年度、商店街実態調査によりますと、商店街全体の売上高の減少、来街者数の減少、空き店舗の増加、などの影響が出た理由を見ると、例年実施しているイベントができなかったため、という理由が53.7%と、一番大きく締めています。今まで通りの復活は、難しいと思われませんが、アフターコロナを見据え、早急に取り組んでいかなければ、ならない課題となっております。また、高島町が発表する、町内の観光客入れ込み数は平成30年の観光客数は、121万人です。対して、令和2年度の観光客数は、49万人令和3年度の観光客数は、53万人となっております。若干の回復傾向はみられるものの、依然、コロナ前の観光客数には、程遠いものとなっております。コロナ前の、観光客数121万人という数字は、置賜地区では、米沢に次いで二番目に多い数字です。このことから、高島町の、観光事業から得られる、経済効果は大きいと推察されます。すなわち、観光客の減少による、経済ダメージも、非常に大きいと言わざるをえません。

私たち商工会青年部は、この観光事業の、経済危機を、地域の深刻な問題ととらえ、観光客数の減少に終止符を打つべく、新たな交流人口の獲得に、着手いたしました。そして協議を経て、生み出された企画が高島ミュージックフェス&マルシェです。

私たちは、各あるイベントの中でも音楽フェスに注目しました。その理由として、日本経済新聞によると、音楽フェスやライブなどの公演数が、コロナ前に比べて山形県は44.9%の減少で全国では39位となっておりコロナ前と比較して、減少への振れ幅が大変大きくなっています。また、ライブエンターテイメント白書によると、昨今の規制緩和に伴い、全国的にも、ライブや音楽フェスの公演回数、動員数、市場規模がコロナ前に比べて、ほぼ半分、または大幅増と回復傾向になっております。本格復興に向けて、道半ばの状況であるからこそ今のタイミングで音楽フェスを開催し、高島町及び山形県に貢献したいと考えております。

高島ミュージックフェスについてですが、県内を拠点にしているアーティスト、または全国を旅しながら活動しているアーティスト数名で開催を考えております。各アーティストには、ライブだけでなく、自分のグッズやCDの物販も行ってほしい、ファンの方々とは触れ合いながら、楽しんでもらえるフェスにしたいとおもいます。

望める効果としまして、音楽を通して、高島町に来ていただく機会をつくることにより、町内外の方に、高島町の商店街または高島町の観光地に足を運ぶきっかけを作ります。また、楽しい高島フェスを成功させることによりアーティストの方にも高島を好きになってほしい、次につながる新しい催しや、創作活動に良い影響を与えるきっかけになると考えております。

同時開催をするマルシェですが、高島町によりますと、コロナ前の町内でのマルシェの開催はありませんでしたが、コロナ禍になってから企画・開催されるようになりました。その要因として、小規模でも開催が可能なこと消費者と対面で活動でき、直接魅力を伝えられることほかのお店と交流できる機会が増え、新しいきっかけ作りができること、などがあげられます。まさにウィズコロナの時代に即した開催形式であると考えられます。今回開催するマルシェは、町内の事業所をメインに集まっていたり、出展ブースは、テントや、ケータリングカー等で行うものとします。また、町内のお店にも集まっていたりします。

マルシェの開催で見込まれる効果としましては、来場者に町内の事業所を知ってもらい、リピーターを増やす効果が見込まれます。また、出店者同士の横の繋がりができ、情報交換や共有、事業所が抱える課題解決へのきっかけになればと、かんがえております。業者間の交流も増え、コラボレーションなど、今後の事業展開に繋げることが見込まれます。フェスとマルシェを同時に開催することで、音楽を楽しみながら、マルシェを楽しんでもらい、長時間高島町に滞在していただくことで、町内の商店街や観光地の利用拡大に繋がると見込まれます。そしてこのイベントの知名度を上げることにより、利用者の各事業所への来店機会を増やすことや、アーティストの新規ファン獲得につながります。また、開催会場を、商店街から近い立地にする事で、会場から商店街へ徒歩でアクセスでき、イベント開催中の消費拡大を見込んでおります。イベント終了後の取り組みですが、実際に、参加いただいた出店者・参加いただいた方々からの意見をききます。

この意見を集約し次に反映することで、定期的なイベントとし、町内外に元気で楽しい、にぎやかな高島町をアピールしていきます。

また、今回は昭和縁結び通り振興会のペット&キャンピングカーの集いin高島と交流プラザのプラザまつりと同時開催になります。3つのイベントを同時に開催することにより単独開催よりも規模も大きくなり青竹ちょうちんまつりに匹敵する規模の開催になりました。来場される方々も趣旨の違う3つのイベントを楽しむことができ、より高島町を強く印象づけることが可能になると考えられます。結果、高島町を知ってもらうことにつながりさらには再訪していただける機会につながれると考えております。

最後に、このイベントを単発で終わらせることなく形は変わってもイベントを継続していくことで町内外の方々に高島町に来れば常に楽しいと思っただけよう青年部が引っ張っていきます。

スマイルBOX

・野球の前夜祭80余名の方より大変喜んでいただきました。前夜祭の準備や大会当日は皆様ありがとうございました。

山村 義美 君

・睡眠呼吸障害は機会があれば卓話したいと思えます。ゲストの菅野君のお父様とは大の友人です。

土屋 衛 君

・野球大会で高島クラブはすごいなと感じました。準備やお手伝いをいただき感謝です。

鈴木 司郎 君

・本日10月5日で弊社は創業33周年を迎えました。

青木 道春 君

・野球の前夜祭と大会の応援を欠席しました。

桑島 周士 君

Rotary



Rotary International District 2800
2023~2024
TAKAHATA ROTARY CLUB

10月15日



世界に希望を生み出そう

WEEKLY REPORT

会長 鈴木 司郎 幹事 高橋 雅明 例会 毎週木曜 12:30~13:30 旅館 エビスヤ 事務局 山形県高島町高島911-2-2F tel 0238-52-5440 fax 52-5444

本日の例会 [2666 th] 2023. 10. 15

ロータリー奉仕デー

「最上川清掃活動」

移動例会 「いも煮会」 かつぱ公園

前回の例会 [2665 th] 2023. 10. 5

高島町商工会

青年部部长 菅野尚宏氏
主 事 佐藤由康氏

- ・点鐘12時30分 鈴木 司郎 会長
- ・国 歌 君 が 代
- ・ロータリーソング 奉 仕 の 理 想
- ・ソングリーダー 梅 津 陽 一 郎 君
- ・S A A 木 村 健 彦 君

会長あいさつ

鈴木 司郎 会長

みなさんこんにちは。

まず初めに本日のゲストをご紹介します。高島町商工会 青年部 部長 菅野尚広さんと高島町 商工会主事 佐藤由康さんです。後ほどご講話をいただきます。

さて、先週の29日・30日に開催されました東北地区ロータリークラブ親睦野球大会におきましては山村実行委員長をはじめ多くの会員の皆様、事務局の菅野さんには開催にあたり大変ご協力をいただきまして誠にありがとうございました。心より感謝申し上げます。

深瀬 副町長、伊藤三之 ガバナー、吉野 徹ガバナー補佐にもご臨席を賜りまして盛大に前夜祭を開催することができました。前夜祭では九里学園ダンス部の素晴らしい躍動的なダンスと、山形大学花笠踊りサークルの四面楚歌による、花笠傘踊り等で大変盛り上げていただきました。参加されました多くの方々より素晴らしい前夜祭だったとお褒めのお言葉をいただきました。

30日の試合では、当クラブは大船渡ロータリークラブと対戦し惜しくも7対4で負けてしまいましたが、好プレー、珍プレーありで大変楽しい試合を

行うことができました。

来年は大船渡での開催となります。多くの選手、応援団で参加したいと思いますので皆様のご協力をお願いいたします。

さて来週は振替休会となっております。再来週の15日は「ロータリー奉仕デー」と「芋煮会」です。たくさんのご参加をよろしくお願いいたします。

《会長の時間》

・山形県の最低賃金を引き上げられ、それに伴い事務局の賃金も引き上げました。

《幹事報告》

梅津陽一郎 副幹事

- ・10月のレート 1ドル：149円
- ・全日本競歩高島大会推進協議会より協賛金の依頼があり、納入いたしました。

《委員会報告》

広報情報委員会
桑島 周士 副委員長

- ・『ロータリーの友』縦組のP21、「卓話の泉」に酒蔵のオーナーには釈迦に説法ですが、日本酒の話が載っており、同じページに「睡眠呼吸障害の治し方」が載っております。土屋先生の専門分野です。同じく縦組のP22に、今後のRI国際大会開催地が掲載されております。
- ・『ガバナー月信』では、P17に当クラブへのガバナー訪問と次ページには町長表敬訪問記事が載っております。そしてP19の新会員紹介では当クラブの齋藤富義君が紹介されております。

《出席報告》

会員数 45名 出席者数 17名 出席率 37.78 %
前回修正45名 出席者数 45名 出席率 100.0 %

今回の例会 [2667 th] 2023. 10. 19

高島町酒米研究会

志賀良弘氏

前回の例会 [2662 th] 2023. 9. 14

米鶴酒造株式会社

常務取締役 須貝 智氏